

## 基本目標 2 人・つながりが育つまち

- 
- 安心して子供を産み育てることができる環境をつくれます
  - ふるさを愛し、地域社会や世界で生き抜く力をもった子供たちを育成します
  - 多様な人材が活躍できる土壌を育てます

### 2-1

重点政策

## 安心して子供を産み育てることができる環境をつくります

### ■ 府中市の強み

- 「子育てステーション」を2か所(北部地域・南部地域)設置するとともに、北部地域ではネウボラコーディネーターを配置し、妊娠・出産・子育ての切れ目ない子育て相談・支援の場として展開しています。
- 木工のまちならではの木育(もくいく:小さいころから木の温かみに触れることで情操を豊かにする)の推進と、木育拠点としての府中市こどもの国が子供の遊びと憩いの場となっています。
- ものづくりのまちとして、近代以降、縫製産業を中心に女性の就労や内職が盛んであり、女性の就労に対する抵抗感が少なく、女性の社会進出が進んでおり共働き家庭の多い地域性があります。それを背景として、保育環境の充実に努めてきており、現在でも待機児童ゼロの実績が続いています。
- 乳幼児医療費助成について、国の制度を上回る助成を行っています。
- 放課後児童クラブを全小学校区に設置し、放課後子供教室とも連携することで、保護者の就労支援のみならず子供の成長に資するサービス提供に努めています。

### ■ 府中市の現状・課題

- 本市の総人口の減少にあわせ、年少人口も減少しており、少子化が進んでいます。特に、若い世代の未婚化・晩婚化が進んでおり、合計特殊出生率も県平均を下回っています。
- 女性の就業率が高く、結婚・出産期の離職率が低い傾向にあります。そのため、働きながら安心して子育てのできる環境整備のさらなる充実が必要となっています。
- 核家族化の進展、地域とのつながりの希薄化を背景に、孤立し、子育てへの不安を抱える親も増えてきており、子育て中の親に対して、気軽に相談できる人や場、また、子育て支援が必要な家庭に届く情報発信を行うことが求められます。
- 児童虐待や家庭の貧困等から子供を守るための環境整備が求められています。
- 放課後児童クラブを利用する児童数が増加傾向にあり、面積、支援員数、提供サービスといった観点から質の向上が求められています。
- 市内に分娩できる医療機関がなく、また市民ニーズの高い夜間・休日の小児救急に対応できていません。

## 基本施策と方針

1	<h3>「結婚～妊娠～出産～子育て」をととした切れ目のない支援</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齢化が進む北部地域において高齢者福祉施策や地域包括ケアシステムと複合的に機能する子育て支援施策を構築するなど、地域性に合った子育て支援（府中版ネウボラ）を推進します。</li> <li>● 「子育てステーション」がトータルサポートの拠点となって相談支援の中心となるとともに、子育て世代の交流の機会づくりを進めます。</li> <li>● 子供を産み育てることに安心と喜びを感じる環境をつくります。</li> <li>● 生活支援を必要としている家庭を中心にすべての子供が等しく健康や学びが保証される機会を受けられる環境をつくります。</li> </ul> <p>主な取組内容 ●若者の婚活・結婚支援 ●子供の貧困対策 ●不妊治療費助成 ●小児科、産婦人科オンライン ●乳幼児医療費助成 ●母子保健の推進 ●府中版ネウボラの推進 など</p>
2	<h3>多様な担い手による子供の居場所づくり</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 多様なニーズに対応し、また地域性を反映させた保育サービス・放課後の子供の居場所を提供し、働きながら子育てのできる環境の充実を進めます。</li> <li>● 子供の発達段階・養育環境・年齢にかかわらず、子供が安心して過ごせ、それぞれの個性が伸ばせる場の確保を、関係機関や地域の連携のもと整備します。</li> </ul> <p>主な取組内容 ●ファミリーサポート事業の推進 ●新たな児童の居場所づくり ●木育の推進 ●企業型保育など多様な保育サービス形態 ●放課後児童クラブ・放課後子供教室それぞれの充実と両者間の連携 など</p>
3	<h3>発達障害・児童虐待への対応</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 被虐待や発達障害といった問題を抱える要保護・要支援児童に対する支援を、関係機関や地域の連携のもと積極的に行います。</li> </ul> <p>主な取組内容 ●AIを活用した虐待リスクの早期発見 ●子ども家庭総合支援拠点の設置 など</p>
4	<h3>医療を受けられる環境づくり</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 府中市民病院を中心に、産科・小児科医療を安心して市民が受けられる体制の整備を目指します。</li> <li>● 病児保育・病後児保育サービスを提供し、十分な子供のケアを受けつつ保護者が就労を行うことができる体制を整えます。</li> </ul> <p>主な取組内容 ●市独自の開業支援・医師確保策 ●病児保育・病後児保育の提供 など</p>

### 関連計画

子ども・子育て支援事業計画／すこやか親子21／男女共同参画プラン

### 2-2

重点政策

## ふるさとを愛し、地域社会や世界で生き抜く力をもった子供を育成します

### ■ 府中市の強み

- 「教育のまち 府中」として、学校・家庭・地域・企業が連携し、成人となってから社会生活を送るうえで必要となる「主体的に生きる力」「地域で生きる力」を育てるとともに、その基礎的資質としての基礎学力向上に取り組んでいます。
- 全国に先駆けて全市的に小中一貫教育に取り組み、義務教育9年間の子供の学習成長が見通せる教育制度を導入しています。
- コミュニティ・スクールを全校で導入し、地域課題の発見と解決に子供が主体的に取り組むとともに、地域が教育カリキュラムを把握したうえで単なる子供の体験活動にとどまらない取組を展開しています。
- 先端技術をもつ企業と伝統的産業が共存するまちで、年齢に応じた職場見学、職場体験、職場実習インターンシップを通して、産業の現場のみならず企業家の職業理念に触れる機会が継続的にあります。
- 毎年、読書感想文や給食レシピのコンテストで複数入賞しています。子供たちの潜在的な創造力のあらわれであるとともに、コンテスト入賞レシピを道の駅レストランメニューとして採用するといった、その資質を伸ばすための教育が効果をあげています。
- 学校耐震化100%や普通教室へのエアコン設置を早期に達成したほか、情報通信設備やPC 端末の配置など学校のICT 環境を積極的に整備しています。

### ■ 府中市の現状・課題

- 社会の変化が著しく進む中、子供たちが将来社会において自立して活躍するためには、社会生活に必要な「主体的に生きる力」と、将来の自己選択の幅を広げるための素養を身につけるための教育をさらに進めていく必要があります。
- AI等の技術革新が進んでいく新たな時代にこそ、人間としての高い志を持ち、技術革新と価値創造の源となる飛躍的な知の発見・創造など新たな社会をけん引する能力が求められています。その前提として、読解力、計算力や数学的思考力などの基盤的な学力の習得が必要です。

## 基本施策と方針

### 1 一人ひとりの可能性とチャンスを広げる教育環境

- 読解力や数学的思考力などの基礎的な学力・体力を培う教育を充実するとともに、義務教育学校・併設型小中学校における府中市独自のカリキュラムを作成し、社会構造の変化やグローバル化に対応し、新たな社会で活躍できる人材を育成します。
- 安心して快適に過ごせる学校環境を整備することにより、効率的な学習ができる環境づくりを推進します。
- 乳幼児期及び義務教育段階初期からの学びをきめ細かく支援し、途切れることのない特別な支援を通して学びのセーフティネットを構築することにより、個人の発達に合わせ、その資質を伸ばすための教育環境を整備します。
- 家庭環境等により個人のチャンスの芽が摘まれないよう、地域や企業を含めた市全体で取り組みます。

主な取組内容

- 府中市版「教育課程の特例カリキュラム」の作成・実施
- 学校施設の耐震化・エアコン整備
- 学校内軽食ブース設置（自律的な朝食摂取支援）等学びの環境整備
- 言語活用能力の育成強化
- 特別支援教育・教育支援員の充実
- こども食堂
- ひとり親家庭に対する学習支援
- 天領あやめ塾（高校生に対する学習支援）など

### 2 可能性とチャンスを活かすための資質を、オール府中の体制で育成

- これまで培ってきたコミュニティ・スクールの取組を活かし、学校・家庭・地域が連携した子供の学び・育つ環境の充実を図ります。
- ものづくり都市の魅力を子供たちが学び、深める機会として地元企業との交流活動を拡大するなど産業界と連携したグローバル人材の育成に努めます。
- 給食における地産地消、地元企業との交流や地域貢献の体験によって子供たちの間で共有された価値観やプライドを郷土愛に昇華させます。
- 郷土愛が、成人となって生活の本拠を置いた地域での課題解決に生かされるなど、他者に必要とされる人材としての礎となるような取組を行います。

主な取組内容

- コミュニティ・スクールの推進
- 企業との交流推進
- 地産地消の取組
- など

### 3 小中一貫教育を軸とした幼保小・中高連携の推進

- 小中一貫教育を軸に幼保小間の連携を強化し、切れ目のない子供の教育を進めます。
- 中学校卒業時に、大人になった自らの姿を想定して自主的に進路選択を行うための判断基準をもてるよう、中高間の連携を行います。
- 市内県立高校について、各々の特徴を生かしつつ地域振興の核としての機能を強化します。

主な取組内容

- 小中一貫教育
- 高校生の通学支援
- 天領あやめ塾（地域魅力づくりコース）
- など

## 基本目標 2 人・つながりが育つまち

### 基本施策と方針

#### 4 Society5.0 を見据えた ICT リテラシーの向上

- 新たな高付加価値な活動が求められる Society5.0 で活躍できる人材を育成します。
- 学校内の情報通信基盤をはじめとした環境を整備するとともに、ICT リテラシー教育に取り組みます。
- ICT をはじめとする先端技術等を効果的に活用する学びを通して、言語能力、情報活用能力、課題発見・解決能力等の資質・能力の育成を図ります。
- 膨大な情報から何が重要かを主体的に判断し、自ら問いを立ててその解決を目指し、他者と協働しながら新たな価値を創造できる資質・能力の育成を図ります。

主な取組内容

●GIGA スクールネットワーク推進 ●プログラミング教育の推進 など

#### 関連計画

教育大綱／子ども・子育て支援事業計画／子どもの読書活動推進計画



### 2-3

#### 多様な人材が活躍できる土壌を育てます

##### ■ 府中市の強み

- 家内制手工業を中心とした「ものづくりのまち」という歴史が培った、想像力や発想力、起業家としてのマインド、職人氣質といったことが市民の DNA として息づいています。
- 上記のような DNA に裏づけられたバイタリティが、市民の文化度の高さと多様な人材を輩出してきた歴史の背景となっています。
- ハンドメイド作品の制作・販売など、個人でものづくりを趣味にしている人も多くおられます。
- まちづくりや賑わいづくりに取り組む特定非営利活動法人(NPO)などの団体や、自主的に地域課題の解決を考える集まりがあります。
- 普段から公民館活動や文化・スポーツの催しが熱心に行われており、世代を超えて市民の教育への関心を深めるイベントとして「学びフェスタ」が毎年開催されています。
- コミュニティ・スクールの取組をとおして、地域が学校・家庭と連携し、子供たちの豊かな成長を支える役割を担っています。

##### ■ 府中市の現状・課題

- 市内に美術館やコンサート専用施設がないため、アートをはじめとした文化活動に触れる機会が少なくなっています。
- 市民の生涯学習や文化活動を拡大するため、成果を発表する場の充実や学習で得た技術・経験を地域活動へ活かす取組が求められます。
- 地域の伝統文化の保存・継承に向けた取組が求められます。
- 市民の生涯学習活動を広げるため、公民館での出張講座等の学習機会の充実のほか、新たな時代に合った分野に関する学びの場が必要です。
- 多様な生き方が選択できる社会になり、様々な人権への配慮が必要な社会情勢の中、家庭や地域、職場において人権を尊重する環境づくりが必要となっています。
- 高齢化により、地域活動における昼間のプレイヤー(担い手)の確保が重要となっています。
- 地域コミュニティの希薄化が進む中、これからの地域の課題を解決するためにコミュニティが果たす役割が重要となり、市民と行政が目的と課題を共有して協働のまちづくりを進める必要があります。

# 基本施策と方針

## 1

### まちの魅力につながる文化活動の推進

- 市内で自主的に行われている趣味活動や地域課題解決の取組といったライフスタイルを自らデザインする活動がさらに市内で多く展開されるよう、場や機会の提供や、情報発信など様々なかたちで支援していきます。
- 芸術活動や音楽活動といった文化について、市内活動を支援するとともに、市外・国外の活動と呼び込むことで市民がそういった文化にふれあう機会を増やします。
- まちの賑わいと魅力向上のため、10代後半から20代・30代が自由に活動できる場や発表できる場を、公共や民間を問わず整備される取組を進めます。
- 地域の伝統文化や、市民の文化活動を発表する場の充実に努めます。
- 生涯学習の推進により、世代にかかわらず自らを高める機会を充実させます。
- 公民館活動について、児童生徒の学習発表会やPTA活動などとの連携を図るとともに、市民の教養向上や健康増進に向けた多様な事業を展開します。

主な取組内容 ●出前講座の充実 ●公民館の利活用推進 ●若年層の文化活動（ハンド活動など）の場確保  
●市内文化活動の推進 ●アートイベントの開催・招致 ●空き家の利活用 など

## 2

### ダイバーシティの観点からお互いを認めあい、高めあう社会の構築

- 多様な人材や異文化を、性別や価値観、障害等に関わりなく受け入れること（ダイバーシティ）を促進する社会を実現します。
- 大人の「サロン」（交流・発表の場）といった場をつくり、市民同士、市民と関係人口といった、人と人の交わりが生み出す化学反応によって、まちと人を活性化させます。
- 幅広い人権問題に対する理解と認識を深める教育及び啓発活動を充実させ、多様性のあるまちづくりへの下地を強固なものとしします。

主な取組内容 ●多様な人材が活躍できるフィールドづくり ●人権に関する講演会等の開催  
●地域共生社会の推進 など

## 3

### 市民協働のまちづくりの推進

- 地域で暮らす人々が互いに連携し、自主・自律した協働のまちづくりを進めるため、市民・地域団体・企業・行政が情報を共有し、多くの市民がまちづくりに対し熱意と興味を持ち、活動に参画する仕組みを構築します。

主な取組内容 ●市民・各種団体・企業・行政の交流促進 ●地域リーダーの育成支援  
●市民のまちづくり参画推進 など

## 関連計画

男女共同参画プラン／教育大綱／地域福祉計画／障害福祉計画／子ども・子育て支援事業計画

